

早稲田都市計画フォーラム寄附講座 第1回公開シンポジウムの記録

平成5年(1993)7月10日(土)



早稲田都市計画フォーラム寄附講座 公開シンポジウムのご案内

■日時

平成5年7月10日(土)
10:00~17:30

■会場

早稲田大学国際会議場

(JR高田馬場駅より都営バス「早大正門行」
又は地下鉄東西線「早稲田」下車)

〒169

東京都新宿区早稲田1-6-1

電話 03-3203-4141(内5180)

■参加費

5,000円(資料代含む)

1. シンポジウム

「地域から望む、もうひとつの世界像」

わたしたちがこだわりたいのは、
豊かな地域のあり方である。
キラキラと光る地域もあれば
じっとして突然輝くものもある。
わたしたちはきちんとした
独自の世界像に根づくものが
すばらしいと確信する。
このシンポジウムでは、
各分科会を通じて
この「確信」を議論したい。

2. 主催:

早稲田都市計画フォーラム寄附講座

後援:

社団法人 日本都市計画学会

3. 連絡先(申し込み・問い合わせ先)

早稲田大学理工学部建築学科
佐藤研究室(担当:清水、三井所)
〒160
東京都新宿区大久保3-4-1
電話 03-3205-2897 (FAX共通)

【プログラム】

セッション		セッションのテーマ		パネリスト コーディネーター (コーディネーターは○)	
10:00	1	東京を構想する	膨張を続ける東京は、計画の枠からいつも抜け出し、「巨大さ」の実験都市である。一方、私たちの生活世界を支える個々のまちは明瞭な像を現わしつつある。この「東京」を構想の力で私たちの手の内に取り込もう。	・浅野光行 (早稲田大学理工学部教授) ・大野輝之 (新宿区都市整備部土地調整課長) ・進士五十八 (東京農業大学教授) ・濱田基三郎 (東京都総合計画研究所代表) ・他、公募パネリスト 1名 ○浦野正樹 (早稲田大学文学部助教授) ○佐藤 滋 (早稲田大学理工学部教授)	
	2	エコロジカルなまちづくり	既成の論理や制度を超えて、地区や地域の生態系に配慮した資源・モノ・エネルギー・情報の循環的なしくみであるエコロジカルなまちづくりについて語り合おう。	・村上統雄 (京ブランド研究所代表) ・菅木孝人 (神戸芸術工科大学芸術工学部助教授) ・島村慎一郎 (埼玉県越谷市長) ・他、公募パネリスト 1名 ○岩村和夫 (株資材アトリ代表) ○中川義英 (早稲田大学理工学部教授)	
	3	すまいづくりと住環境	バブル経済下で、追い出し・地上げなどすまいの不安定化が加速したが、これらはわが国の住宅政策の根本的な問題である。自治体、住要求、住環境からすまいの安定化について新たな住宅政策を展望しよう。	・内田雄吉 (東洋大学工学部教授) ・竹内隆男 (シビック・プランニング研究所代表) ・中野明子 (目白女子大教授) ・他、公募パネリスト 1名 ○内田勝一 (早稲田大学法学部教授) ○若林祥文 (埼玉県熊谷土木事務所建築課長)	
12:00		記念講演	「真の活性化とはどういうことか」	橋村純一・掛川市長	
13:15					
14:00	4	国土計画を語る	大都市集中は限界と言われているが、国土計画は有効な答えを出していない。新たな国土づくりと新たな秩序を地域の視点から探り、その理念を考えて見よう。	・岸 宏一 (山形県金山町長) ・竹内 謙 (朝日新聞編集委員) ・地井昭夫 (広島大学学校教育学部教授) ・戸沼幸市 (早稲田大学理工学部教授) ・広瀬昌行 (明治大学教授) ○吉岡博仁 (東京商科大学助教授)	
14:30	5	参加のまちづくり	各地で、さまざまなまちづくりの局面でユニークな参加の試みが見られるが、その限界や問題点も指摘されている。ここで、参加のまちづくりを展望し、新たな論理を構築しよう。	・近藤安弘 (熊本大学工学部教授) ・宮口信雄 (早稲田大学教育学部教授) ・森まゆみ (谷根千工房代表) ・他、公募パネリスト 1名 ○井上林郎 (東京都総合計画研究所) ○卯月盛夫 (世田谷区まちづくりセンター長)	
	6	地域のデザイン	空間から「地域」の表情が失われている中で、地域のデザインはどう展開しうるか、どのような試みに取り組むべきか。自治体をはじめ地域の組織がこれにどう関わるかを話し合おう。	・大野勝彦 (大野建築アトリ代表) ・国吉直行 (横浜市都市デザイン室主任調査員) ・重村 力 (神戸大学工学部助教授) ・他、公募パネリスト 1名 ○倉田直道 (株式会社ハウス都市建築研究所代表) ○田中滋夫 (茨城県デザイン代表)	
16:30		総括集会		●総括集会 戸沼幸市 ●各分科会コーディネーター	
16:50					
17:30		懇親パーティ		(懇親パーティの参加費は別途)	
18:00					
20:00					

■設置目的

複雑化・多様化した都市・居住・環境問題に対して、既存の学問分野の枠組みを越えた学際的アプローチをしようとする本講座の目的は次の3点で、①激変する社会で生産され蓄積された情報を大学の教育と研究の場へ導入すること、②都市づくり、まちづくりに、将来関わる行政官、都市計画家、民間プランナーの基礎的職能教育、③都市関連分野の研究の交流・発信拠点を形成することにある。

■対象分野

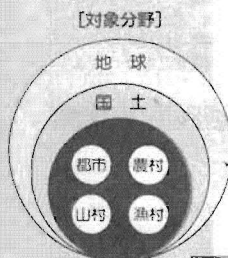
講座では、都市から農山村、地域社会から国土さらに地球環境全体にいたる範囲を対象とし、これらに関わる空間的・社会的計画と自治行政に関わる分野について、実践を通した理論と技術を蓄積している社会との連携を図りながら、学際的な教育・研究を展開する。

■教育対象者

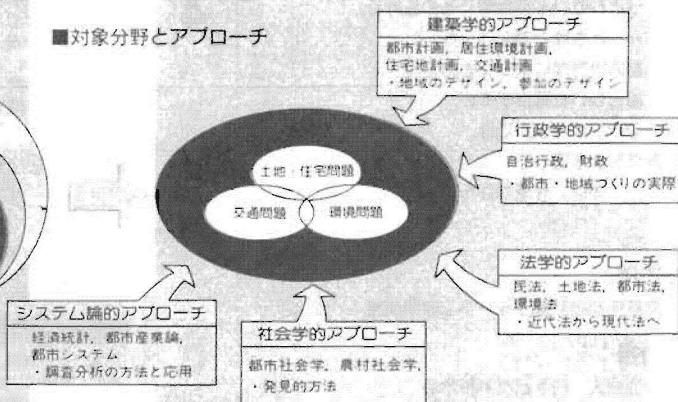
講座は、大学院理工学研究科および理工学部の講座であるが、他研究科・他学部の特許を認めるほか、自治体・民間企業など外部機関からの研修生も受け入れる。

■教育内容

現代の都市や地域社会が抱える諸問題の考察を踏まえて、自治体と市民による自治を基本としたソフト・ハード両面にわたる都市づくり、まちづくりを構想しようとする際の理論と実践を、講義と演習を通して学ぶ形式をとる。都市計画、都市行政、都市社会学、都市法学など多面的な講義のほか、これらに関わる調査・分析、情報収集、インタビュー、合意の形成手法、計画プロセスなどについての演習も行う。実践的な効果を上げるべく、夏期休暇中の事例調査等では、自治体との有機的な協力を図る。なお本講座は、講義と演習がセットになっているが、講義だけ(前・後期各2単位)、演習だけ(前・後期各3単位)の履修も可能である。いまのところ、工研の建設工学専攻(建築学・土木工学)と理工学部の建築学科が、講義についてのみ専門科目扱いとして単位を認定することになっているが、他学部・他研究科での活用も期待される。



■対象分野とアプローチ



■担当講師陣

(学内各方面教員)

- 都市計画関係：戸沼幸市(国土計画・都市設計専攻)
中川義英(都市計画・交通計画専攻)
佐藤 滋(都市計画・居住環境計画・住宅地計画専攻)
- 都市行政関係：寄本勝美(自治行政専攻)
縣公一郎(行政学専攻)
- 都市社会学関係：浦野正樹(都市社会学・地域問題専攻)
店田廣文(都市社会学専攻)
- 都市法学関係：内田勝一(民法・土地法専攻)
- 都市産業論関係：鶴岡信一(経済統計専攻)
- 都市システム関係：土方正夫(情報システム科学専攻)
(演習担当教員)
- ・卯月盛夫(世田谷区まちづくりセンター所長)
- ・藤井敏信(十文字女子短期大学教授)
- ほか、学内外の研究者・実務家多数による。

■講義予定(案)

●講義

現代都市・地域論A：基礎理論の講義

1. 都市の調査
2. 都市に関わる調査・研究・計画課題

現代都市・地域論B：都市づくりの実際と可能性を講義

1. 都市行政の実際
2. 自治体都市づくりの技術

●演習(参加型まちづくりの実際)

以下の調査、分析、企画、構想立案、実現化のプロセスを学際的な手法で演習する。外部専門家が指導する。

現代都市・地域論演習A：参加型の都市づくりを前提に調査の具体的な手法を演習する。

1. 調査、分析方法
2. 地域社会との応答
3. 事例研究：調査・計画事例の評価

現代都市・地域論演習B：具体的な事例を想定し、計画プロセスを演習する。

1. 計画条件の読み取り、整理の方法
2. 企画構想の立案、計画と設計
3. 実現化のための施策の組立

■記念シンポジウムの開催

7月10日、井深大記念ホールにて、本寄附講座の設置を記念し「地域から望む、もうひとつの世界像」と題するシンポジウムを開催し、内外の研究・情報の交流を行う予定である。

寄附者：早稲田都市計画フォーラム

早稲田都市計画フォーラムは、早稲田大学出身者が代表者、もしくはパートナーとなっている都市計画事務所(法人)の集まりである。これらの法人は、公共的な性格の強い都市計画の分野で、中立的な立場で都市計画の調査、計画策定を行う専門家集団として、いずれも評価を得ている。このような法人グループがフォーラムを結成し、母校への感謝の意味を込めて、今回寄附を申し出た。40〜50社が、この寄附講座を支えることになる。